

五社英雄監督作品  
USUGESHO

# 薄化粧

なごころしもえんせいでい...やれしあふこころ

人は心で化粧する。生きんがための闘いに...



緒形拳	伊代三子
松本谷	伊拓順香
川下利	宮浅津代
浅下利	松鶴崑人
福村中	直徳徳稔
笑大竹	花沢林原
柳花小	萩井
菅野	浅野
藤	真利子

〔製作〕弁本喜年／遠藤武志／西岡善信／宮島秀司（プロデューサー）徳田良雄／高橋 泰  
〔原作〕西村 望（立風堂月刊 文藝文庫刊）〔脚本〕古田 求（撮影）森田富士郎（美術）西岡善信（音楽）佐藤 勝  
松竹／五社プロ／映像京都提携作品（配給）松竹株式会社



甘い愛だけを求めずに、人間の影の部分の未練や、怨念や、憎悪や、執着といった哀しい情念の世界にも豊かでありたい。そこでこそ、愛憎という人間の心の綾が光り輝く。  
まことの愛は、幻にすぎぬ、だるうか……。  
たとえ幻であっても、この手につかんで、しっかりと、たしかめてみたい。この「薄化粧」では、男と女の、本音と、タチ・マ・エのきしみのなかで浮き彫りになる、スッパイ、辛い、愛の色を、鮮烈に描いてみたいと思うのである。

五社英雄へ演出ノートより

映画ファンが待ちに待った五社英雄監督の新作。

「雲霧仁左衛門」、「闇の狩人」の大ヒット以来、七年ぶりの松竹作品です。宮尾登美子三部作を独自の映像開拓により、完璧なまでに作品化した数々の映画賞に輝いた五社監督が、構想五年、遂に映画化に結びつけた作品が、この「薄化粧」といえます。

卑小な人間欲望の切なさ、いらだち、更ら底知らぬ人間の獣性と、それを突き抜けて求める、情念のやさしさ、しがらみの哀しさを愛情をこめてしみじみと、そしてただかに描く壮大な男と女のドラマと云えるこの作品は、本年度日本映画の代表的作品となるでしょう。

昭和二十三年、ある山奥の鉱業所。

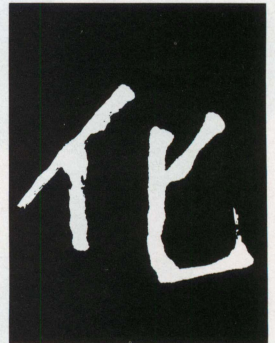
坂根（霧形）は、抗夫として働き、妻・ふくみ（浅利）と、喬という8歳になる息子の三人で暮らしていた。二十数名の死者を出し



た落撃事故の補償問題で、抗夫代表として会社に掛けあった坂根は、土地の顔役・土瀧から裏金を掴まされてしまふ。坂根の運命の歯車がここから狂い始めるのだ。

その金を元に金貸しを始めた坂根は、事故で夫を亡くし生活に困っているテル子（浅野）の弱味につけこみ、巧みに云い寄ってゆく。坂根とテル子の仲を知ったふくみは、ある夜二人の関係を精算するよう激しく迫りながら手斧を握りしめた。狼狽して手斧を奪い取った坂根は、その手斧をふくみの頭に振り下してしまふた。

翌日から坂根は何くわぬ顔で、テル子と喬との三人の生活を始めた。だが、喬はテル子になつかず、泣き暮らす日々が続いた。坂根は喬を哀れに思い、ふくみの元へ連れて行ってやるしかないと思い、決心するのだった。テル子が胸の病いで入院してしまうと、坂根は金を貸しているのをいいことに、仙波徳

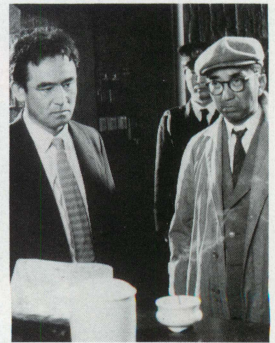


一の妻・すゑ（宮下）と関係を持つようになつた。すゑには一人娘の弘子（松本）がいて、坂根の気を惹くように愛らしく振舞う彼女に、彼はすつかりのぼせ上つてしまふた。しかし、近々結婚することになってしまった弘子は、云い寄る坂根をきっぱりと拒絶してしまふ。小娘に翻弄されていることに気づいた坂根は、弘子の婚礼の夜、ダイナマイトで仙波家を爆破してしまふた。

逮捕された坂根は、敏腕刑事・真壁（川谷）と老刑事（大村）コンビの執拗な追求で、ふくみと喬の殺人も暴かれてしまふ。――

昭和二十七年、坂根は刑務所を脱獄。以後素性を隠しながら飯場を渡り歩く流浪の旅が始まる。

飯場では、森谷（小林）という乱暴者に苛められている氏家（竹中）という男を助けたことから親しくなり、孤独な男同志、酒をくみかわす夜もあった。又、明賀（柳沢）とい



う青年に、指名手配の男に瓜二つと云われて冷汗をかいたこともあった。

そんな逃亡生活の果てに、坂根は一人の薄幸の女・ちえ（藤）と巡り逢ふ。金持ちの旦那から小料理屋をまかされているちえは、坂根と一緒に暮らすことを夢見るようになる。坂根にとつて、ちえは初めて出逢つた菩薩のような女だった。ちえとふたりつきりて居ると、すべての過去を忘れ、坂根は全身で甘えることが出来た。

そんな頃、捜査網は一刻と絞りこまれ、坂根の身辺を脅かし始めた。

追いつめられた坂根は、ちえに自分の素性を打ち明けた。それをさえぎるように、ちえは今のままの二人でいたいと訴える。しかし、ちえを巻き添えには出来ない。泣きながら必死でつがるちえを振り切つて、坂根は駅に向かうのだった。



- 坂根藤吉
- 緒方 拳
- 山波弘子
- 松本 伊代
- 真壁一郎
- 川谷 拓三
- 山波すゑ
- 宮下 順子
- 坂根ふくみ
- 浅利香津代
- 上瀧 笑福亭松鶴
- 松井捨藏
- 大村 崑
- 氏家正助
- 竹中 直人
- 明賀英之
- 柳沢 慎吾
- 渡辺鉄治
- 花沢 徳衛
- 森谷 小 林 稔 侍
- 立石常務
- 萩原 流行
- とよ（選 爺 婦）
- 菅井 きん
- 地所テル子
- 浅野 温子
- 内藤ちえ
- 藤 真利子

公開  
10.26  
熊本松竹